



平成27年7月24日

草加かがやき特別支援学校 自立活動専任



特集 「夏休みにできることをふやそう！」

夏休み間近です。どのご家庭でも「夏休みに〇〇ができるようになるといいなあ」と思うことがあると思います。子どもたちの実態に応じて、取り組ませたい内容は様々でしょうが、大切なのは、夏休みが終わっても続けていけることです。

こんなことにチャレンジしてみませんか？

1 社会性

自分から挨拶をする

「自分から」がポイントです。まずは家族に「おはよう」の挨拶から。近所の人、家に来た人など少しずつ人を増やしていきます。お店で商品を受け取ったら「ありがとう」などとも言えるようにしましょう。

交通機関を利用する

電車・バスに乗って出かけてみましょう。切符の買い方、パスモなどの使い方も覚えましょう。電車の中での過ごし方も実際に乗ってみて学んでみましょう。

電話を受ける

「電話は取らなくていい」と言っているご家庭は案外多いかもしれません。「〇〇です。今、家の人はいません。また電話してください」などが言えるようにしましょう。誰から何時に電話がかかってきたなど、メモも取れるように練習しましょう。

家の人と一緒に出かける

スーパー、コンビニ、公園どこでもよいです。お母さんと手をつないで歩く、お母さんと同じ速さで歩く、「止まって」と言われたら止まって待てる、傘をさして歩く、荷物を持って歩く、などを練習しましょう。「今日はこっちの道から行ってみよう」「今日はお父さんと自転車で行こう」など、変化を柔軟に受け入れられるようにします。

2 ことばを育てる

ことばを暗記してみる

Eテレの『にほんごであそぼ』の「ちょよいのちょい暗記」などにチャレンジしてみましよう。歯切れのよい短いフレーズを繰り返してみましよう。

口をたくさん使う

よく噛むことや歯磨きなどは舌の使い方や口唇部の動きを育てます。シャボン玉、巻き取り、紙風船などもよい練習になります。スイカにかぶりつくのもぜひやってみましよう。プツと種を出しましよう。ついでに口のまわりに着いたベタベタを舌でぐるんとなめてみましよう。とうもろこしや冷やしきゅうりを丸ごとかじりましよう。室内でパン食い競争のようなゲームをしたり、風船を吹き上げたりする遊びもやってみましよう。水の中にもぐってンツ！と息を止めたり、ブクブク息を吐くのもやってみましよう。

自立ノート

6月23日(火)に保護者学習会が行われました。テーマは「コミュニケーションの力を育てる」、参加者は81名でした。学習会終了後のアンケートでは貴重なご意見をたくさんいただきました。すべてをご紹介できないのは残念ですが、いくつかを載せます。

- ・ 子どもは何を伝えたかったのか。私も日々考えるところです。コミュニケーションが苦手な子どもからより、できる大人の方から働きかける中で、言おうとすることを待ってみる。(少しの時間をかけて、急がせず)やっ行ってこうと思いました。
- ・ 言語発達に課題のある我が子ですが、親が理解して接することが大切だと改めて感じました。感情的にならない、ジェントルティーチングを心がけ、子どもが安心してコミュニケーションがとれる環境を作りたいと思います。
- ・ 在籍している子どもだけでなく、きょうだい児にも応用できる話があってよかったです。
- ・ 私もよく子どもを否定するような叱り方や疑問詞を使ってしまいます。子どもの反応はないことが多く、わかりにくかったのだと反省しました。注意しているときにヘラヘラ笑っていることの原因など、子どもの立場になって考えようと思っても、どうしてもわかってあげられずに私自身も苦しくなっていましたが、先生のお話を聞いて気持ちが楽になりました。うちの子どもは表出言語がないので写真カードを進んで使って行きたいと思いました。インリアルアプローチという指導方法があることも初めて知りました。これからの育児に役立てていける内容で、参加してとてもよかったです。
- ・ 家では普通に使っていた言い方では、子どもに伝わっていなかったのでは？とか、理解していなかったのでは？とお話を聞いている時に考えさせられることが多々ありました。コミュニケーションが取りづらい子どもだからこそ、丁寧に聞いてあげ、言葉で教えてあげられたらいいんだと思いました。
- ・ いろいろな本を読み、息子のコミュニケーション力を育てるにはどうしたらいいのかと自分なりに学んできましたが、今回の勉強会で、初心に戻り、息子とコミュニケーションを取りたいと思いました。
- ・ 子どもとのかかわり方、コミュニケーションの仕方を見直すよい機会になりました。つい感情的になってしまったり(かなり反省)、キツイ口調になってしまったりすること、気を付けたいと思います。伝え方の工夫をしなければと思います。
- ・ 今思い返すと、子どもからいろいろなサインが出ていました。もっとアンテナを張りたいたいと思います。
- ・ 家庭内でも子どもにあった工夫をしているつもりですが、今日のお話で見直しできる部分や、今まで通りのやり方で、と思うこともあり、とても参考になりました。
- ・ 今までやってきたことが間違っていないことの確認ができました。



当日の資料は、すべての保護者と教職員に配布してあります。

また自立活動専任と話がしたいというご要望もありました。いつでもお気軽にお声がけください。

